



森林環境学習



文責 本宮小学校長 佐久間仁

十一月一日、四年生がフォレストパークあだたらを訪れ、森林について学びました。午前中は、森の案内人の方に案内していただきながら、森林の散策を行いました。食べられる実があることや、触ってはいけない植物があることを知りました。子孫を残すための植物の知恵に驚かされました。午後は、間伐した木材を活用した木工クラフトに挑戦しました。基本形を教えていただいた後は、自分なりの工夫を凝らしながらオリジナルの作品づくりを楽しむことができました。懇切丁寧に指導していただいた森の案内人の皆様に感謝いたします。ありがとうございます。

お家の方には、お弁当作りや持ち物準備などで大変お世話になりました。ありがとうございます。

「子どもたちの感想」

たくさん学んだ森林環境学習

四年 安部美咲

今日は、森林環境学習でフォレストパークあだたらへ行ってきました。フォレストパークあだたらには、森の案内人の方がいて、知らないことをたくさん教えてもらいました。私が一番びっくりしたことは、きれいな花が咲いていても、どくをもっているということ。その花の名前は、トリカブトです。トリカブトのどくは、熊やイノシシなどの動物が食べてしまつと命を落とす可能性があり、人間はさわるだけでもあぶないそうです。だから、きれいな花が咲いていても、よく観察してからさわるようにしたいです。森林環境学習で学んだことをわすれず、これからの生活にいかしていきたいと思います。

森林環境学習

四年 舟木翔斗



森林環境学習で分かったことは四つあります。一つ目は、さわったらかゆくなるというウルシです。ウルシは、森の中で一番先に赤にかわるそうです。二つ目は、森林館の中にある動物は本物だと分かったことです。死んでしまった動物の心さうなどを取って、毛をつ

けて作っているそうです。動物は、クマ、イノシシ、カモシカ、キツネ、タヌキ、キジ、ハクチョウなどが置いてありました。三つ目は、木の葉は（長い年月をかけて）水にかわると初めて知ったことです。木の葉がなかったら、水はできないと思います。四つ目は、トリカブトという葉です。トリカブトはウルシよりも、もうどくだと初めて知りました。森林環境学習でたくさん思い出ができて、ぼくはとてもうれしいです。

楽しかった森林環境学習

四年 高橋実果



私が楽しかったことは、森林をたくさんたんけんしたこと、工作をしたことです。まず一つ目にはたんけんが楽しかった理由は、味わったり、さわったりしたからです。酸っぱい実を食べたり、にがい実を食べたりしたのが、一番楽しかったです。あと、日本一大きな葉っぱを見ました。カエデ、イチヨウなどを見たり、さわったりしました。二つ目は、工作です。工作では、私はクマを作りました。クマでは、木をけずると、クマの鼻をくつつけるのがむずかしかったです。でも、楽しかったです。森林では、きれいな植物や日本一大きな葉っぱなどがあるのを知り

ました。工作も難しかったけど楽しかったです。森林はすごいんだと思います。すごく楽しかったです。



※この森林環境学習は、福島県の森林環境税が活用された事業です。関係各位のご協力に感謝します。

【読書に親しもう】



十一月一日から三十日まで、「秋の読書週間」です。子どもたちは、本を読み終えるごとに読書カードにスタンプを押してもらいます。目標が達成できた人には図書委員からしおりが贈られます。目標が達成できるように励ましていきたいと思えます。ご家庭でも、メディアから離れて親子で読書をするなど、読書に親しむ活動へのご協力をお願いします。